

8-2 商品の発注数を設定する

概要

店POWERでは、各店舗の棚割モデルを管理するため、店舗別の取扱商品をすぐに確認できます。

さらに新旧の棚割を比較して、新規採用になった商品だけを抽出することもできます。このデータは陳列データとして基幹システムに連携できるため、店POWER上で新店発注、新規発注に利用する発注データを作成できます。

起動方法



操作方法

発注(新規発注)

【カテゴリー】=清涼飲料

検索(B) 詳細設定(I) クリア(C)

共通商品コード	商品名	名古屋店	大阪店	福岡店
0000049503135	トップバリュ アミノ酸サブリメ			
4514603073119	アサヒ 十六茶			
4560151620817	サッポロ 玉露入りお茶			
4901201212697	UCC 駿河園 烏龍茶			
4901777110410	サントリー 健康緑茶 フラバン			
4901777119154	サントリー 燃焼系 アミノ式			
4902102034623	コカコーラ 爽健美茶			
4902102043144	コカコーラ まろ茶 茶葉の功			
4902210360492	JT セノビー MBP			
4902471032961	ポッカ さんびん茶			
4902888540240	森永 ロイヤルミルクチャイロプロテ			

一括設定

全商品 陳列在庫数量 発注単位*フェイス 手動設定 発注不要

実在庫数量 発注単位丸め 発注単位*倍数

登録(A) エクスポート(U) インポート(I) 終了(E)

新規発注を行なう(新旧棚割を比較して、新たに追加された商品のみが発注対象)

1. 「棚割操作」－「発注」－「発注(新規発注)」を選択します。
2. 「部門」と「カテゴリー」またはどちらかを一覧から選択します。(必須)
3. 棚割変更日を設定します。

直近未来	本日日付以降（本日日付は含まず）の直近未来の情報を対象にします。
現状	本日日付以前（本日日付を含む）で過去直近の情報を対象にします。
入力日の直近未来	入力日付以降（入力日付を含む）の直近未来の情報を対象にします。

4. 発注数を登録する店舗を絞り込む場合は、「直接検索」タブから「店舗グループ」「店舗」を選択します。
登録する店舗を該当パターンから絞り込む場合は、「パターン検索」から「パターン」を選択します。
5. 「実行」をクリックすると設定画面が表示します。
6. 商品と該当店舗の一覧が表示されます。
7. 商品と店舗が交差する箇所をダブルクリックし、発注数を入力します。
8. 「登録」をクリックします。

新店発注を行なう(指定した部門・カテゴリ・店舗に陳列されている全ての商品が発注対象)

1. 「棚割操作」－「発注」－「発注(新店発注)」を選択します。
2. 「部門」と「カテゴリ」またはどちらかを一覧から選択します。(必須)
3. 棚割変更日を設定します。

直近未来	本日日付以降（本日日付は含まず）の直近未来の情報を対象にします。
現状	本日日付以前（本日日付を含む）で過去直近の情報を対象にします。
入力日の直近未来	入力日付以降（入力日付を含む）の直近未来の情報を対象にします。

4. 発注数を登録する店舗を絞り込む場合は、「直接検索」タブから「店舗グループ」「店舗」を選択します。
登録する店舗を該当パターンから絞り込む場合は、「パターン検索」から「パターン」を選択します。
5. 「実行」をクリックすると設定画面が表示します。
6. 商品と該当店舗の一覧が表示されます。
7. 商品と店舗が交差する箇所をダブルクリックし、発注数を入力します。
8. 「登録」をクリックします。

発注数を一括で設定する

発注数を入力する設定画面を表示させた後、「一括設定」では複数の商品の発注数をまとめて入力できます。

プルダウンメニューから、一括設定の対象として「選択商品」または「全商品」を選択します。

発注数を反映させる方法を設定してから「登録」をクリックします。

「選択商品」	一覧内で選択した商品のみを対象に一括で発注数を設定します。
「全商品」	一覧に表示している全商品を対象に一括で発注数を設定します。
「陳列在庫数量」	陳列在庫数量を設定します。
「実在庫数量」	実在庫数量を設定します。
「発注単位*フェイス」	【「発注単位」×「フェイス数」】を設定します。
「発注単位丸め」	【「発注単位」の整数部分×「発注単位」】を設定します。
「手動設定」	テキストボックスに入力した数値を設定します。
「発注単位*倍数」	【「発注単位」×テキストボックスに入力した数値】を設定します。
「発注不要」	各商品に[XXXX]を設定します。(発注が不要な商品に設定します)

Excel ファイルから発注数を登録する

〔発注(新規発注)〕もしくは〔発注(新店発注)〕より発注数を入力する設定画面を表示させてから Excel のひな形ファイルを使って発注数をまとめて入力することが可能です。

1. 〔エクスポート〕をクリックし、任意の場所に Excel ファイルを保存します。
2. Excel ファイルに「発注」画面の内容が記載されているため、Excel ファイル内で発注数を入力し保存します。
3. 〔インポート〕をクリックし、手順2で保存した Excel ファイルを指定します。
4. Excel ファイルの編集内容が「発注」画面に反映されます。
5. 〔登録〕をクリックします。

■ 特記事項

- 検索時、棚割変更日の横にあるヘルプボタンより日付設定の詳細を確認できます。
- 〔詳細設定〕から画面の表示方法を変更することができます。

店舗の商品の陳列状況を発注の参考値として表示する	「表示項目(店舗)」のプルダウンメニューから「フェイス」「陳列在庫数量」「実在庫数量」のいずれかを発注数の左側に表示させることができます。
商品の表示順を変更する	「明細出力順」のプルダウンメニューから「共通商品コード」「プライベートコード」「台/段/列(下段)」「台/段/列(上段)」のいずれかに表示順を変更できます。

- 発注不要で設定した陳列商品は[TP-INOUT]では抽出対象外になります。